

■一般社団法人 鹿児島県作業療法士協会 理事会 議事録

日時：令和6年4月15日（月）19：00～

場所：Web 会議

出席者：吉満・藤田・福永・西・柳田・住吉・日高・黒木・小澤・田中・永山・坂下・安藤

欠席者：深見・峯戸松

I. 報告

報告事項1

提出者：田中有貴

士会内で立場：事務局長

報告：年会費納入状況

内容：4月15日現在の納入状況は財務データ更新後にご報告いたします。

令和5年度は最終的に93.1%でした。

報告事項2

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

報告：退会者について（2名）

内容：勝田直起子（カッタ マキコ）菊野病院 県外へ転出

蓑田春乃（ミノタ ハルノ）三宅病院 66835

報告事項3

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

報告：令和6年度休会者について 届出合計13名

内容：大島郡医師会病院 久井亜美 出産

高原病院 橋本孝典 育児

報告事項4

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

報告：昨年度末に購入した物品について

内容：事務所で管理しているので、積極的に活用されてください。

【事務所管理】

- ・ビデオカメラ、SDカード(128GB)、三脚、ビデオカメラケース：各1台

※研修会の撮影をお願いします

- ・デスクトップPC、モニター、関連機器(キーボードなど)：パラ e スポーツ関連
- ・ウェブカメラ

報告事項 5

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術担当

報告：活動報告

内容：

I. 県学会

1. 第 33 回鹿児島県作業療法学会

1) 学会長：豊永 峻 氏 (鹿児島大学病院)

2) 開催日：令和 6 年 9 月 7~8 日 (土・日)

3) 会場：鶴陵会館

4) テーマ：作業療法の評価、治療を見つめなおす

5) 講演

(1) 会長講演：豊栄峻 (鹿児島大学)

(2) 特別講演：高橋香代子氏 (北里大学)

(3) 教育講演①：野中信宏氏 (愛野記念病院)

(4) 教育講演②：西祐樹氏 (長崎大学)

(5) シンポジウム：夏目恵介氏 (鹿児島大学病院：主任)

壱岐尾優太氏 (長崎原爆病院)

※各講演は 1 時間で検討している。

6) 演題募集中：期間：12/15~4/30。一次募集・二次募集を行う

7) 発表形式：ポスター発表 (発表者は、5 分間の概要を口述形式でプレゼンテーションする。その後 30 分間ポスター前へ移動し自由に意見交換を行う)

8) 学会形式：今回もハイブリッド開催を行う

WEB の環境の整備のために、第 32 回種子島学会で実績のあるメンバーに協力してもらう

9) その他：

(1) 5 月の代議員総会資料と共に、ポスターと A4 サイズのチラシ、病院への広告募集を封入予定でしたが、代議員総会資料は個人向けの配送であったため病院宛に別途郵送を行いたいと思います。5 月中旬には発送予定です。

(2) 4/30 日で 1 次募集を締め切り 5/1~5/31 まで 2 次募集を行います。現在演題登録が少ない状況ですので、九州学会同様、病院や施設へ個別で声掛けをしています。

(3) 学会では懇親会を開催予定です。場所や料金、規模については現在検討中です。

(4) 優秀演題の表彰を行う予定です。

※9 月 7 日学会前に公開講座：下堂蘭恵氏 (鹿児島大学教授) を予定。講演時間 1 時間

II. 学術誌

1. Vol. 30 : 令和6年3月に印刷済み。代議員総会の資料とともに会員全員に発送予定

特集：テーマ「学会を開催してみて」

執筆者：吉満孝二氏（鹿児島大学医学部保健学科）

藤田賢太郎氏（鹿児島医療技術専門学校）

酒井宣政氏（種子島医療センター）

濱添信人氏（種子島医療センター）

研究論文：2題

- ・ 当院における ICT を使用した臨床実習支援システム導入の試み ～第一報～
社会医療法人緑泉会米盛病院リハビリテーション課 中野 宏治氏
- ・ COVID-19 拡大前後の地域在住高齢者における 大切な作業の特徴および満足度の検討
鹿児島大学大学院保健学研究科 博士後期課程 下木原 俊氏

2. Vol. 31 : 特集：案①「作業療法士の働く領域を広げる」糖尿病、ハローワーク、司法領域、開業等
新しい領域で働いている作業療法について活動について検討中

論文投稿数：現在4題（新規投稿数：0件、査読中3題、採択1題）

論文投稿の広報を行う

III. 研究支援事業

1. 研究法研修会：令和6年度研修会テーマ案：5回を予定

初学者対象、基本は平日夜、19：30～21：00に実施予定

1) 事例（症例）報告の作り方

2) 研究の流れ（進め方）①：研究のイロハ、研究テーマの決め方、研究疑問を作る手順（PICOPECO）

3) 研究の流れ（進め方）②：事例を通して研究デザインを学ぶ

4) 研究の流れ（進め方）③：研究計画書の書き方、研究計画書の演習

5) 研究スタイルを事例で学ぶ

2. 研修会ニーズアンケートと研究法研修会についてのアンケートをLINE@で3月18日と25日に行った

1) 研究法研修会アンケート：会員回答：7件（米盛病院先行回答：17件）計24件

2) 研修会ニーズアンケート：会員回答：9件（米盛病院先行回答：18件）計27件

回答率は低いですが、研究への興味は7割弱、研究の関して学びたいことはほぼ満遍なくという結果

2. 研究相談会：広報を行う

3. 課題研究助成制度：

1) 令和4年度

研究助成承認：加治木温泉病院 藤本皓也氏

テーマ：中枢神経系疾患を伴う対象者に対し、手指屈曲伸展反復運動時の同時性収縮の評価方法の検討

期間：令和4年6月～令和6年5月まで 制度を実施中

2) 令和6年度の募集を広報する

IV. 学術部コンテンツ

新年度に合わせてビデオライブラリーの更新とリストの公開を行った

今年度の各部局での研修も極力録画していただき、ビデオライブラリー内に登録していただけるよう、各部にも依頼をお願いしたい

報告事項6

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部

報告：令和6年度公開講座について

内容：コア会議報告

確認事項

開催日時：令和6年9月7日（土） 13:00～14:00

場所：鹿児島大学医学部鶴陵会館ウィリアム・ウィリスホール

講師：鹿児島大学医学部リハビリテーション医学講座 教授 下堂蘭恵先生

対象：一般市民

検討を行い決定した事項

会場受付は人数の把握のみ（一般と会員）

公開講座の申し込みは電話とFax、フォームで行う

公開講座のチラシ作成

チラシ 300部予定

学会のチラシへの記載を検討する

その他の広報：市の街中掲示板を検討する →2-3か月前に申し込む

会場キャパ 300名

200名ぐらいを目指す

豊栄さんから打診、内諾済み webは不可 対面のみ

◎テーマの検討

大きく3テーマ

①脳血管障害の予防

②鹿児島県の脳血管障害リハビリテーションの基礎（川平法、リハロボ）と最前線

③OTとしての関わり・OTができること

座長：窪田教授に打診

下堂菌先生に講演内容について調整を行い、テーマが決まり次第、公文書発行の手続きを行う

報告事項7

提出者：

士会内での立場：

報告：理事選挙の立候補状況について

内容：

《理事》

1. 西 綾 （現職） 株式会社輝く羽
2. 住吉賢一 （現職） 医療法人青仁会池田病院
3. 藤田賢太郎 （現職） 鹿児島医療技術専門学校
4. 福永一喜 （現職） 株式会社イロドリ
5. 柳田信彦 （現職） 鹿児島大学医学部保健学科作業療法学専攻
6. 吉満孝二 （現職） 鹿児島大学
7. 壽三佐子 （新規） 介護老人保健施設 愛心園
8. 向江理志 （新規） メンタルホスピタル鹿児島
9. 黒木貴博 （現職） 笹貫訪問看護ステーション 愛の街
10. 田中有貴 （現職） 大勝病院
11. 坂下寛志 （現職） いちき串木野市医師会立脳神経外科センター
12. 酒井宣政 （新規） 種子島医療センター
13. 中野宏治 （新規） 米盛病院
14. 橋口信洋 （新規） 鹿児島第一医療リハビリ専門学校

《監事》

1. 安藤千恵 (現職) 鹿児島赤十字病院
2. 平嶋佑太郎 (新規) キラメキテラスヘルスケアホスピタル

報告事項 8

提出者：西

士会内での立場：副会長

報告：口腔機能推進協議会 関係団体との打ち合わせ WEB

内容：歯科医師会・歯科衛生士会・栄養士会・理学療法士協会・作業療法士協会・言語聴覚士協会との関係団体にて、リハビリテーション・個別機能訓練・栄養及び口腔の一体的取り組みにおける現状と課題にていて議論しました。それぞれの役割や連携についての課題が残された。研修なども合同で行うことや、情報交換の必要性あり。(吉満・藤田・福永・西・田中出席)

II. 議案

議案 1

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

議案：新入会員について(5名)

留野妙子 (トメ タエコ) 自宅会員 32532 再入会

下石真由香 (シロイ マカ) 自宅会員

川本莉奈 (カワモト リナ) せいざん病院 78066

北園真莉名 (キタノ マリナ) グッジョブカレッジ

飯山モモ (イヤマ モモ) 自宅会員 再入会

決議事項：承認

議案 2

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

議案：令和6年度予算案について(別紙参照)

収入 1307.5 万円

支出 1307.5 万円：事業費(763 万円)、管理費(554 万円)

決議事項：承認

議案 3

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

議案：定款の改定について(別紙参照)

定款の変更箇所についてご確認いただき、ご意見をいただけないでしょうか。

決議事項：承認

議案 4

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

議案：新事務員候補について

- ・事務所近くにお住まいなので、徒歩か自転車通勤
- ・ご主人は転勤無し
- ・不動産の事務として勤務経験あり
- ・SNS(LINE@やインスタなど)の投稿可
- ・ホームページ更新は専門的知識がないので不可

決議事項：近日中にこの方の面接を行うことに決定

議案 5

提出者：小澤孝典

士会内での立場：総務部

議案：代議員総会への離島から参加する際の旅費交通費の取り扱いについて

決議事項：今回の旅費交通費の予算は補正予算で調整していく。

議案 6

提出者：小澤孝典

士会内での立場：総務部理事

議案：代議員総会の議案について

何かある方は3月の理事会で4/6(土)締切で提案をお願いしていた。

今のところ定款の変更以外に何も出ていない。

決議事項：定款の変更を議案として挙げていく。

議案 7

提出者：小澤孝典

士会内での立場：総務部理事

議案：臨床実習指導者講習会は今年度もオンライン（Zoom）にて実施予定。

毎年世話人を入れると100名を超えるため、吉満会長の好意で300名まで対応できる鹿大のアカウントを使用させていただいていた。

しかし、今年度鹿大はZoomアカウントの更新をしないという話題が出たように記憶している。

そうなった場合、県協会アカウントの変更が生じると思われる。

※参考プロプラン（上限 100 名）24,000 円/年 ビジネスプラン（上限 300 名）32,400 円/年

決議事項：必要なときだけ月単位でビジネスプランで契約していく。

なお、会議用アカウントは閉鎖して、Teams のテレビ会議機能で代替していく。

議案 8

提出者：藤田賢太郎

士会内での立場：副会長

議案：休会規定について

休会中も研修会は受講可能。ただし正会員での受講とならないことからポイント付与はできない。また、正会員であれば参加費無料の研修会においては 1 回の研修会につき 500 円で受講可能とする（公開講座など非会員でも参加費無料の研修会は無料）。

決議事項：1 回の研修会につき 500 円で受講可能⇒参加費は無料とする。

なお、臨床実習指導者講習会等特殊な研修会では、休会会員の参加要項について研修会ごとに明示する。

議案 9

提出者：住吉賢一

士会内での立場：事業部理事

議案：協会員向けアンケートの実施について

総会の議案書郵送に合わせてアンケートを同封していただきたい。

アンケートの目的は以下の通り。

↓↓

「多職種連携を現場でどうやっているの?」、「関わってみたいけどいきなり一人では不安、先輩について学んでみたい」といった県協会員の意向や傾向を調べるためにこのようなアンケートを作成しました。ご自身のことやこれからやってみたい、「やってみたいけど不安だ」といったご意見を忌憚なくいただければ、今後の研修会や事業計画に盛り込む予定です。

決議事項：

議案書へのアンケート同封は可能

LINE@での配信も併用して行う

アンケートのパンフレットや質問内容に関しては加筆修正が必要と考える

議案 10

提出者：吉満孝二

士会内での立場：会長

議案：会議の在り方について

1. 会議費を請求する部局会議については必ず議事メモを残し、Teams にアップする。
2. 理事会は議事録を整理し、HP に掲載する。

決議事項：了

議案 1 1

提出者：吉満孝二

士会内での立場：会長

議案：副会長の任命、理事の役割について

1. 会長は理事会の選挙にて任命されるが、副会長の任命、理事の役割についてどのように決定されるか不明確である。両方について、地方自治体に倣い、会長が副会長を指名・理事に職務を任命し、理事会の同意を受けようようにしたい。
2. 理事の役割について、後輩育成・リーダー養成の観点から、原則として一定の役割を 2 期 4 年を超えないようにしたい（役割ローテーション制度の導入）。

決議事項：1 については了、2 については取り下げ。ただし各部局ローテーションし、部員負担の一極集中を緩和する努力をお願いし、理事のローテーションにも努力するよう理解を求める。

議案 1 2

提出者：西

士会内での立場：副会長

議案：講師謝金の金額に関して

現在 OT は講師謝金 1/2 規定となっている。この制度の意味合いの見直しと廃止の検討。

決議事項：外部講師と OT との区別をつける意味合いが困難である。努力している方々に正統に支払う方が良いと考え、令和 6 年度より 1/2 制度は廃止。

議題 1 3

提出者：吉満

士会内での立場：会長

議案：代議員の充足数について
定款にてらして、代議員の充足数を計算すると $1123 \text{ 名} / 30 = 37.4 \text{ 名}$ 必要になる。端数の取り扱いについて端数は切捨てでよいと考えるが、良いか

決議事項：了

その他

IV. 次回会議

令和6年5月20日（月）19時～